

万葉



夏の思い出 花火大会

八月十四日(火)万葉荘園駐車
場にて花火大会を行いました。

当日の朝は小雨が降っていましたが、昼からは雨が上がり、又涼しい風にも恵まれて、花火大会には絶好な日になりました。

夕食はたこ焼き・フランクフルト等屋台メニューが並び、お祭り気分を味わって頂きました。花火が始まるとグループホームの皆さんも合流し、手を叩いて喜ばれている方や、耳をふさいでいる方、また「綺麗やなあ・・・」「大きいなあ・・・」「今のかかんわあ・・・」など、会話も弾んでおられました。

そしてファイナーレでは五十連発花火を職員が六カ所から同時点火し、間近に見る迫力に自然と拍手が鳴り響きました。と同時に赤や青、黄の光に映し出された利用者さんの笑顔が、この夏一番の思い出となりました。



三郷町芸術祭美術展

九月六日から九月九日にかけて三郷町文化センターにて「三郷町芸術祭美術展」が開催されました。万葉荘園絵画教室、陶芸教室の皆さんの力作を出展し、今年も四名の方が見事に受賞されました。

九月九日、受賞された四名の方が受賞の祝を兼ねて昼食を王寺ロイヤルホ

米山雅祥さん
陶芸の部奨励賞

井元信子さん
陶芸の部奨励賞

橋本志げのさん
絵画の部奨励賞

吉岡昌枝さん
絵画の部奨励賞

ストでワイワイと楽し気に済ませた後、三郷町文化センターでの表彰式に出席されました。皆さん少し緊張しつつも笑顔で堂々と壇上に立たれ、表彰状を受け取り、顔を綻ばしておられました。来年も素晴らしい作品を出品し、多くの受賞で多くの笑顔が見られることを期待し、この日を終わりました。受賞者の皆様、おめでとうございました。



◆陶芸半日外出◆

七月二十六日(木)、陶芸教室で半日外出に行ってきました。アピタ西大和店の百均ショップで陶芸の道具に使えそうなものを買いました。広い店内に色々なものが並んでいて皆興味津々、目移りして大変でした。気が付いたらカゴの中がいっぱいでした。しかしそこは百均ショップ、何を買っても百円です。取捨選択に困ることなくそれぞれ好きな物を買えました。そして昼食、皆メニューを見てハンバーグやハヤシライス、コーヒーやジュース。好きな物を選んで食べて飲みました。皆満足して嬉しそうでした。帰りに「しまむら」に寄って、作業用のエプロンを買いました。たくさん種類があり、順番に一人ずつあれこれと好きな物を選んでもらい、賑やかに楽しく半日外出を過ごしました。それぞれ自ら選んだ道具とエプロンを使い、どんな作品を作るのかとても楽しみです。

◆ユニット外出◆

七月二十五日(水)ユニットのメンバー男女四人で大阪のアリオ八尾へ外出をしました。前々から楽しみにしているようで、外出の話を度々されておられました。途中コンビニでコーヒーブレイクをし、ゆっくりと向かいました。車内でも楽しそうに「〇〇買うねん。」と買い物の話をして「ワイワイガガヤ」と賑やかに過ごしていました。到着し、まずはご飯を食べようとお店をめぐるしました。カレーやハンバーグそして海鮮と色々食べたいものがあつたのでフードコートで食べることにし、そ

れぞれ好きな物を選びました食後は男女分かれてショッピングに向かいました。

男性は服をメインに見に行きました。「ジーンズが欲しい」と言っておられたのでそれに合う服やベルト等一式を買いました。満足されました。シヨッピング後はコーヒーフロートで一息入れました。女性はぬいぐるみや衣類を買いおやつを食べて、こちらも大満足という顔をされていました。

帰りの車内では少し疲れた様子でゆっくりとされていました。婦寮後は買ったものの話でまた盛り上がりしていました。

◆その他の外出◆

- 六月十五日(金)
 - すぎ・ひのき・さざんか・さつき居室
 - 行先||梅田空中庭園
- 六月二十日(水)
 - 創作二班
 - 行先||ミ・ナアラ
- 六月二十七日(水)
 - 午前||ひいらぎ・こぶし居室
 - 行先||アピタ西大和店
 - 午後||もくせい・いちよう居室
 - 行先||ロイヤルホスト王寺駅前店
- 七月十一日(水)
 - 午前||けやき・もくれん居室
 - 午後||かえで・あじさい居室
 - 行先||アピタ西大和店
- 七月十八日(水)
 - 絵画教室
 - 行先||あべのハルカス美術館
- 七月二十三日(月)
 - みずき・かりん・もみじ・さくら居室
 - 行先||京都水族館

7月

(あおぼ寮)

- ・竹内 一さん
- ・森本 雅司さん
- ・松沢 則久さん
- ・辻中 まゆみさん

(あおぼ寮)

- ・内海 淳さん
- ・長谷 貞彦さん

(みどり園)

- ・岡村 彰展

6月

☆6・7・8月
お誕生日の
皆さん☆

おめでとうございます!

HAPPY
BIRTHDAY!



(あおぼ寮)

- ・泉 尚孝さん
- ・井上 清志さん
- ・谷口 勝さん
- ・中野 恵介さん

・中内 やす子さん

- ・藤島 真知子さん
- ・藤島 冷子さん
- ・吉岡 昌枝さん

8月

ヤマトだより
西和清陵高校紅葉祭



9月7日(金)

今年も西和清陵高校の紅葉祭で、ヤマトで創作したさをり商品を販売させていただくことが出来ました。

ヤマトでは皆さんに販売体験をして頂きたいと考えており、販売をお願いする利用者さんは毎年チェンジしています。今年は興平さんと光江さんに参加していただきました。

学生さんや先生方が入ってくると「いらっしゃいませ～」と笑顔で対応し、たくさん買っていただくことが出来ました。又興平さんと光江さんは紅葉祭でのバザーもショッピングも楽しみにされており、会場に入ると思い思いに品物を手に取り、安くたくさん買うことができとても喜んでいました。学生さんが楽しくにぎやかにしている姿を見て、元気をもらいヤマトへ戻りました。ヤマトの皆に「楽しかったよ」と報告されていました。

みどり園だより

すいか割り・かき氷大会



8月10日(金)に、「すいか割り・かき氷大会」を交流ホームで行いました。利用者のみなさんも楽しく、「右、右。」など声を掛け合いながら、張り切ってすいか割りをしていました。見事に割れたすいかを、みんなで分けておいしく食べました。

また、かき氷も、好きなシロップをかけて「冷たい、冷たい。」と言いながらも、涼を得たと言わんばかりにニコニコされていました。暑い中でしたが、楽しく、涼しい思い出しながら、有意義な時間を皆さんで過ごせました。



これからもまたこのような機会を作りたいなと、みどり園一同思っています。

グループホームだより
日帰りバスツアー



7/21(土) 今年もグループホームのバスツアーの季節がやってきました。今回は京都市水族館と太秦映画村を巡るツアーで、天候にも恵まれ幸先の良い出だしとなりました。順調に京都へ入り、最初の目的地である京都市水族館に予定通り到着することが出来ました。水族館は何度も訪れたことがありますが…泳いでいる魚を横から見るという非日常的な体験は、何度味わっても良いもので、予定時間を過ぎても見入っていました。



バスで10分、昼食場所のなごみ亭へ向かいました。メニューは普段食べなれていない御膳で、少し堅苦しさを感じつつも、箸を進めるにつれそれもすっかり忘れてデザートまで完食出来ました。

なごみ亭を後にし、いよいよ最終目的地である太秦映画村へ向かいました。屋外では撮影なども行われていましたが、猛暑ということもあり屋内展示の「ひばり館」と忍者ショーを見学しました。「ひばり館」は以前別の場所にあったものを集約した所で、見覚えのある衣装やポスター、小道具などが展示され思い出に浸り…忍者ショーは普段



時代劇で見ていた殺陣が目の前で展開され大興奮でした。

最後に、怪我や事故にあうことなく無事に帰ってくる事が出来ツアーの内容以上にこれが一番良かったと思います。



施設・産業給食
株式会社 **タクサン**

代表取締役 谷本 淳

〒639-2112 奈良県葛城市笛堂 568-2

TEL:0745-69-4781 (代)

FAX:0745-69-4536

e-mail mailto@e-takusan.co.jp

URL http://www.e-takusan.co.jp



有限会社 みさと

〒636-0821 奈良県生駒郡三郷町立野北

3丁目8番17号

TEL:0745-32-1010 FAX:0745-32-3344

ビルディングメンテナンスは
お任せ下さい!!



「安心」、「安全」、「快適」な旅を

旅交房 観光バス

(株)泉並商店

〒583-0845

大阪府羽曳野市広瀬 107-1

TEL:072-956-5152

FAX:072-956-5144



凡人の独語

平成三十年八月二十二日、台風十九号に続き二十号が上陸し、多大な被害をもたらした。静岡県では高波により四名が亡くなり、各地で床上、床下浸水により生活に支障をきたすこととなった。

更に追い打ちをかけるように九月四日台風二十一号は猛威を振るった。死者九名負傷者四六七名、住家被害では全半壊四棟、一部破損一〇六八棟、ライフラインでは停電だけでも約二五二万戸、断水約二万九千戸と想像を絶する暴風雨が生活基盤を崩していった。そして、九月六日北海道胆振東部地震・・・目も当てられないような惨状、死者数の多さに只々愕然。

ニュースでは暗い情報ばかりが鼓膜に張り付き、日常生活が一変した人々の水、食料、ガソリン等を求める長蛇の列の姿が網膜に焼き付くばかり。

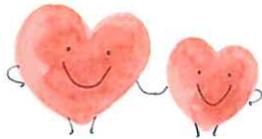
ふと、日本人という民族は素晴らしいと再確認する感覚が蘇ってきた。以前の震災時でも略奪行為をすることもなく、当然のように列をつくり順番を待つ日本人は外国から称賛されていた。

改めてこの民族の一員であることに誇りさえも感じられた。

今、各地で被災している方々に直接手を貸し、少しでも救う行為ができない状態であることにモヤモヤしたものを感じている。

万葉荘園を利用している方々もハンデを持ちながら、臆することなくいろいろな感情を私達に見せてくれ、しっかりと一日一日、毎日を生きている。

突然の被災と戦っている方々に対し障害の違いはあれど介護支援という仕事に携わり、この目の前の、支援を必要としている人に、少しでもより快適に、少しでもより幸福感を抱いてもらえるように心がけ、対峙していくことで心のモヤモヤを払拭し、被災地の方々の普段の日常生活が早く戻るようにと願うばかりだ。



川柳・俳句募集

良ければ川柳・俳句を万葉荘園に届けていただけませんか。風刺・とんち・笑い、いずれでも結構です。

「ふる女房

こづかいアップに

首をふる」

「ふる女房

メイクアップは

フル装備」

メールでもお葉書でも構いません。随時受け付けております。

是非皆さんご応募下さい。

※なお、応募多数の場合
は、勝手ながら当園にて選考
させていただきます。

御寄附
御寄贈

(平成三十年六月十一日)
平成三十年九月十一日

御寄付

☆香林秀和

☆松本律子

☆万葉荘園みどり園保護者会一同

御寄贈

☆山川弥生

(順不同、敬称略)



※お詫びと訂正※

前回「万葉」(2018年7月1日発行)のNo.に誤りがございました。正しくはNo.119です。

お詫びして訂正いたします。



万葉

編集・発行／万葉荘園
後援会
連絡先／〒636-0824
奈良県生駒郡三郷町
城山台2丁目15-1
万葉荘園内

TEL : 0745-32-4331
FAX : 0745-32-4980
✉ manyo@themis.ocn.ne.jp